

とまこまい びじゅつかん
 吉小牧の美術館の
 みりよく つた
 魅力を伝える

ぴとこま

第4号
 2013年1月号

2012年11月10日、改装工事中の博物館の一室で、特別な鑑賞会（※1）が開かれました。

本紙『ぴとこま』を作っている美術館広報部のために企画された展示は、題して『人と自然：それぞれの表現』。吉小牧市博物館の細矢学芸員が人と自然をテーマに、博物館の収蔵作品（※2）から、絵画、コラージュ（※3）、彫刻など全部で9点を選んで展示しました。

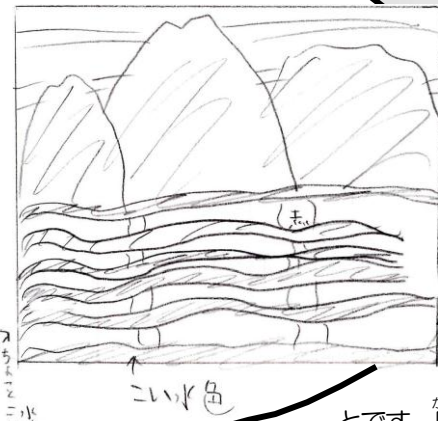
記者たちは、ゆったりと展示された作品を、少し離れたり、ぐっと近づいたり、様々な方向から一人ひとりが自由に鑑賞したあと、気に入った作品の前で、気に入った作品について感じたことをおしゃべりしながらみんなで鑑賞する「対話型鑑賞」に挑戦しました。特に人気のあったのは金属の彫刻『作品』（上田公夫作）で、子ども記者たちは周囲を囲み、あらゆる方向からの見え方を調べたり、光のあて方で影のでき方が変わることを発見したり、みんなで、じっくり見る面白さを体験しました。

※1 鑑賞：芸術作品などを見たり聞いたりして、その良さを味わうこと

※2 博物館の収蔵作品：博物館が持っている作品

※3 コラージュ：雑誌や新聞などを画面にはる表現

私が気に入ったのは喜田村純さんの『風景』という絵と、上田公夫さんの『作品』というオブジェです。『風景』という絵は、風が流れるような不思議な感じの絵でした。絵と文・本村朱里



ちいさなぼくが見た作品の中で喜田村純さんの『風景』という作品に目をひかれました。どうして目をひかれたのかというと、すべて紙でできていたからです。この絵を見ると、風景でも山の風景に見えます。理由は絵の真ん中に山のような紙が貼られているからです。この絵を見て、興味を持ったところは紙で紙のように見えるところがあることです。風のように見える理由は、波のようになっていて、風が流れているように見えるからです。

みなさんも、ぜひ見てください。文・的場翔

この白い波みたいな形は、紙を貼ったものだよ。なにを表していると思う？

スペシャル企画☆美術館広報部のための特別展示
 人と自然：それぞれの表現



きれい！

すなはま 砂浜にも見える！

海の表面じゃない？